

# 年報

# さわらび

# び

## 2012

さわらび保育園年報 第2号

2012年(平成24年)7月 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 さわらび保育園

〒813-0031福岡市東区八田4-6-5

[ TEL ] 092-671-1881 [ FAX ] 092-671-1763

[ E-mail ] sawarabi@suo.bbq.jp

[ HP ] http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/

遂に、六月二十六日の衆議院本会議で民主党が推進する「税と社会保障の一体改革」が自民、公明両党との修正協議で一部修正して可決されました。今後、参議院に舞台を移し集中審議を経て、成立に持ち込まれようとしています。

この修正には総合子ども園法は撤廃する、とか児童福祉法第二十四条は変更しない等が含まれており一瞬ですが胸をなで下ろしかけました。

しかし、その修正法案を詳しく読んでみると、自公政権がかつて作り出した認定子ども園を拡充するということになって、総合子ども園と同様の制度にしていることになっていきます。

また、変更しないはずの保育所運営費の仕組みについては「当分の間は変えない」との付則条項が一つ、そり付け足してあったり、保育時間についても保護者の仕事時間によって丸一日保育園を利用できなくなる制度はそのまま生きていくようです。

少し時間を戻します。

私はこの年報や園便りに、「これで日本の子どもたちに未来はあるのか」、「日本の保育はどこへ」と題して今の保育制度改革は間違っていないかと、度々、書かせていただきました。

国は保育に対し財務省

が主導し、財政抑制を本丸として(決してこのことが表に出ることはありませんが)、「全ての子どもたちのために」という美辞麗句を旗頭に賛成派の学者や関係者を集めて検討会を重ね、国民の理解を得られたとして、国会に税と社会保障一体改革の目玉として子ども子育て新システム関連法案を提出しました。

予測されることは悪いことづくめです。

私見ですが、日本は外国と比べると、幼児教育に対する公費負担は先進国の中では最下位に近いお粗末な状況です。改革が必要なのはいうまでもありません。

そのために、①参議院で正当な審議がなされれば、衆議院に差し戻され、容認できる保育制度改革の可能性がある。

今からはこの一案にむけ各方面に働きかける必要があると思います。それとともに、民主党が宣言していた消費税を値上げして保育制度改革のために一兆円の恒久財源を準備するとの方針は維持させなければなりません。

消費税との一体改革を好機として、保育環境の改善はもとより、保育料の軽減や職員の処遇改善を目指し、日本の子育て支援が質量ともに世界の水準に追いつくことを願って止みません。

## 子ども・子育て新システム

野党の反対で法案修正、しかし……

廃案にして真の保育制度改革を

消費税を上げるのであれば生きた財源に

理事長/統括園長 大浦 純平

今一度書きませんが、この新システムでは、保護者は役所に保育園への入園を申し込むのではなく、自分の仕事内容を申請し仕事と通勤時間を必要だけの保育時間を認定してもらうだけになります。その後は、自分で保育園を回り入園申し込みをして、園が選別をし入園契約を結ぶことになる。

企業にも門戸を広げ、利益の配当を可能にします。その上で、悪徳な業者の出現が危惧される。給食を外部業者に委託しコストを下げてもらう。園の収入は確実に減り、保育士の給与を下げざるを得なくなり。



大浦 純平

### 子どもと保育園

保護者と地域と共に  
檜原 洋子

年報第2号を皆様にお届けできることを嬉しく思います。これも、皆様方の保育園に対するご支援、ご理解のたまものと感謝申し上げます。

平成24年4月1日より、森部前園長の後、園長の職務をさせていただくことになりました。檜原と申します。

いままで、さわらび保育園が保護者、地域の皆様とともに培ってきた保育を大切に継承しながら、地域社会における子育て支援の役割を果たせるように、職員一同力を合わせて子ども達が楽しめる、笑顔あふれる保育園をめざしていきたく思っております。

今年度は、261名の子ども達と54名の職員でスタート致しました。入園・進級から3ヶ月が経過し外では、どんな遊び、びかびか泥団子、縄跳び等狭い園庭をフルに使って元気な遊ぶ子ども達の姿が見られます。室内では、一転してコーナー遊び、絵本、制作等の静かな遊びが展開されています。

一人一人の権利を大切に、子ども主体の保育を、保護者、地域の皆様との細やかな連携を大切に保育を行っていきたくと考えております。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。



### さわらびと私

森部 エミ子

朝、保育園に通っている親子に出会う度に、子ども達どうしているかな？もう園生活にもなれ、園庭で朝のひと時が繰り広げられていることだろうか、と思うこの頃です。

さわらび保育園は昭和45年4月、一日も早い開園をとの要望に応え扉は開け、遊具も揃っていない園舎で12名の新園児を預かり、保育がスタートしました。経験者は園長の私と主任の小島先生、保育士一人あとは新卒の職員で本当に無我夢中の毎日でした。

開園以来、子ども達一人ひとりのかけがえのない命を大切に、「どうしてあげることが子ども達の幸せにつながるのか」を常に問い続け、日々の保育を進めてまいりました。素晴らしい子ども達との出会い、折々のつぎやきに喜び、励まされ本当に感動の日々でした。

大浦貫道先生、大浦仁子先生、理事長の大浦純平先生との三代に亘るご縁で、この年まで好きな保育の仕事ができたこと、またこの間大きな事故もなく無事過ごされたことは、私を信頼して支えてくださった、地域の皆様はじめ保護者の皆様、開園当初苦勞をともにした先生たち、並びに現職の諸先生、今まで出会ったたくさんの方々の先生たちのご協力のおかげで心より感謝しております。保育現場を離れるという寂しさはありましたが、24年3月で退職と定め、長い保育園生活に別れを告げました。残された人生を、有意義に過ごしたいと思っております。一人ひとりの子ども達、すでに社会で活躍している卒園児のみなさんの個性と能力が益々輝いていくのを楽しみに見守り、声援を送っていきたくと思致しますと共にさわらび保育園の発展を心よりお祈りいたします。



### 遊びの大切さ

平成24年度 父母の会 会長 箱田 忍

平成24年度父母の会会長を務めさせて頂くことになりました箱田です。長男が小学2年生でさわらび保育園で5年間お世話になり、現在長女がうめ組でお世話になっております。「父母の会会長」の話が出始めたのは数年前、とうとう逃げ切る事ができず大役を務めさせて頂くことになりました。正直不安もありますが、役員の方々と協力し1年間、まさか2年間？明るく、楽しく、元気に進めていこうと考えております。

昨年の年報に前会長の生田さんが「さわらび保育園のよさを1つあげてみて？」という内容に「遊びを中心とした活動が充実していること」を挙げられていました。私も同感です。外で遊ぶ子供たちは本当に思いっきり遊んでいて、長男もそうでしたが服も靴も汚れて、脱いだ靴の中には大量の砂。ズボンのポケットからも砂。ズボンのお尻の部分が破れる事も日常茶飯事だったようです。保育園に行く外で遊ぶ子供たちが元氣一杯で、自分も一緒に遊びたくてしまします。私が以前、講演会に行った時に話されていた一部を紹介させて頂きます。

『遊びは子供にとって全生活といってもよく、また成長にとって大切な学習ともいえます。自分でやってみたり、試したりすることを通して知識や能力を自分のものにしていくのです。自分のもてる力を一杯発揮して遊ぶ子供に大人の口出しはできるだけ控え、温かく見守りたいものです。』

といった内容の話でしたが、聞きながら「さわらびの子供たちが頭

に浮かびました。子供の成長過程において、遊びとはとても大切な部分であると思えます。遊びを大切にしながら、子供たちと関わって下さっている先生方に本当に感謝しております。

父母の会としても、色々な行事を通して子供たちの思い出に残るような楽しい経験をさせていきたいと思っております。

これから1年間父母の会の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。



平成二十四年度	行事
4月2日	はじめましての会
4月7日	クラス懇談会
4月11日	園児健康診断
4月19日	親子歓迎遠足
5月7日	家庭訪問
5月9日	園児健康診断
5月18日	園劇会
6月6日	歯科検診
6月6日	一日保育士月間
6月9日	芋苗植え
6月12日	親子保育
6月29日	体力測定(3日間)
7月6日	交通安全教室
7月8日	救急救命講習
7月8日	七夕会
7月21日	ゆりキャンパ
8月4日	さわらび夏祭り
8月21日	ミニファイヤースクール
8月30日	香椎宮夏祭り
9月1日	クラス懇談会
9月11日	名島プール
9月17日	運動会
10月7日	コーラス
10月17日	観劇会
10月24日	園児健康診断
11月1日	三日月山・立花山登山
11月1日	一日保育士月間
11月7日	芋掘り
11月11日	園児健康診断
11月13日	園児健康診断
11月16日	園児健康診断
12月9日	合同音楽発表会
12月10日	於 そびあしんぐう
12月13日	スケート指導
12月15日	もちつき
12月21日	クリスマス会
1月7日	七草会
1月11日	鏡開き・どんど焼き
1月12日	クラス懇談会
1月20日	邦楽の集い
1月26日	年少発表会
2月30日	クラス記念写真
2月16日	豆まき
2月16日	さわらび発表会
3月1日	ひなまつり会
3月5日	お別れ会
3月14日	入園説明会
3月23日	お別れ会
3月26日	卒園式
3月26日	入園式

平成23年度 さわらび保育園経理区分 決算状況 (単位 千円)		
【 資金収支計算書 】		
経常活動による収支	運営費収入	199,951
	利用料収入	5,297
	その他の経常活動収入	25,160
	経常収入計 (1)	230,408
	人件費支出	162,824
	事務費支出	17,956
	事業費支出	35,055
	その他の経常活動支出	7,742
	経常支出計 (2)	223,577
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,831
施設整備等による収支	施設整備等収入計 (4)	800
	施設整備等支出計 (5)	5,852
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲5,052
財務活動等による収支	財務収入計 (7)	0
	財務支出計 (8)	0
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0
	当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	1,778
前期末支払資金残高 (11)		30,968
当期末支払資金残高 (10)+(11)		32,746

【 貸借対照表 】		
資産	流動資産	43,245
	固定資産	217,534
資産の合計		260,779
負債	流動負債	10,504
	固定負債	0
	小 計	10,504
純資産	基本金	72,786
	国庫補助金等特別積立金	73,717
	その他の積立金	47,000
	次期繰越活動収支差額	56,772
	小 計	250,275
負債及び純資産の合計		260,779

**平成24年度 職員構成**  
(6月1日現在53名)  
理事長 大浦 純平  
園長 檜原 洋子  
主任 三笠 良子

つばみ組	平河 奈緒子 常軒 沙織 下川 加南子 池松 順子 重野 しのぶ 鎌田 眞理 佐藤 由佳 福山ひとみ 渡辺 久美子
もも組	野田 理奈 原口 直子 岩下 香苗 村上 直美 斉藤 直美
うめ組	中村 文 菊田 由希子 鉄田 みゆき 田中 孝子 松田 雄紀
ふじ1組	荒津 佐知子 田中 麻菜 松本 香菜子 安藤 里美 前車 智子
ふじ2組	飛来 弘子 畠山 美桜 佐野 美奈子 袴田れい子 今村 優巳子
なのはな組	滝口 純 朴木 千佳子
たんぼぼ組	石原 由依 中里麻衣子
すみれ組	小林 千春 指宿 絵里
れんげ組	楠本 勝馬 古賀 幸子
つくし組	有馬 里恵 土谷 賢吾
栄養士 調理員	西岡 広美 渡邊 和 串崎 美津代 池田 善子 大塚 美代子 清水 妃鶴 斉藤 豊子 中村 靖代 秦 伸代
事務員 用務員	林 美由起 川上 幸子 鶴岡 優子

**平成24年度 父母の会役員**

会長	箱田 忍 (うめ)
副会長	倉富 幸康 (れんげ)
書記	長谷川 聖 (たんぼぼ)
書 記	吉田 賞美 (つくし)
書記	北方 理恵 (つくし)
会計	中島 早智江(ふじ1)
会 計	長嶋 裕子 (なのはな)
役員	中西 美里 (すみれ)
役員	園田 麻美 (うめ)
役員	堺 文子 (うめ)
役員	原田 幸子 (ふじ2)
役員	田中 真奈美 (もも)
役員	日高 智美 (もも)
役員	李尾 れい子 (すみれ)
役員	徳富 尚子 (なのはな)
役員	大地 真理子 (つくし)
役員	浦田 麻衣 (たんぼぼ)
役員	谷口 のぞみ (つばみ)
役員	吉泉 比呂子 (つばみ)
役員	永石 真喜美 (れんげ)
役員	武本 憂香 (たんぼぼ)
役員	松本 裕子 (すみれ)
役員	上木 知架 (すみれ)
役員	斉藤 奏子 (れんげ)
役員	大枝 陽子 (れんげ)
役員	今泉 絵夢(たんぼぼ)
役員	織田 廣子(つくし)
役員	向 千津子(なのはな)
役員	中川みずえ(なのはな)
役員	松尾 由美 (ふじ2)
役員	藤本 あやめ (ふじ1)

**編集後記**  
年報第2号が発行されました。皆様この一年、いかがお過ごしでしたか？  
この一年で子ども達の成長、さわらび保育園の様子などが年報を通して伝わったらと思います。  
(三笠・楠本)

### 快適な保育環境を・・・トイレの改修

4月下旬から5月上旬にかけて1歳児クラス(うめ・もも)のトイレの改修工事が行われました。タイルの床が木の床にかわり、暖かみもあって、とても明るくなりました。また、オムツ交換台、ペーパーホルダーも新しくなり、個人用のロッカーもできあがりしました。トイレを見られたお母さん方は「かわいいね」「来年子どもが使えるのが楽しみ(0歳児保護者)」という声が聞かれ、保護者の方に喜んで頂けて、嬉しく思います。  
(原口)



### 夏祭り

父母の会のお父さんお母さんが主体となり、毎年7月に「さわらび夏祭り」が行われます。平成23年度はあいにくの天気でしたが、夕方からの祭りは、浴衣や甚平を着て可愛い姿でやってくる子ども達。照れつつも、ニコニコして友だち同士見せ合いお祭りを盛り上げます。  
夏祭りはゆり組(5歳児)のさわらび太鼓で幕開け。元気の良いかけ声、太鼓の音が響いてきます。沢山のお客さんの前で叩ける嬉しさ、そして、恥ずかしさも感じながら、堂々とした演奏です。  
その後は各コーナーでのお楽しみ。ヨーヨー、ゲームコーナー、おぼけやしきなど係の方達があれこれ工夫をこらし、楽しませてくれます。中でもおぼけやしきはかなりの恐怖のようで、ほとんどの子が泣いて出てくる程。かき氷やからあげ、パンなどの販売もあり、みんなでお楽しみものを囲み、保護者同士の交流も広がります。  
ファイナルはお父さん方による「花火」。屋上から高さを使った仕掛け花火があり、お祭りもおおおいに盛り上がりです。  
夏ならではの祭りや花火など、良い思い出となる一日です。  
(荒津)



### さわらび畑

前年度の5歳児が植えた玉ねぎが大きく育ち、5月の終わりに2歳児以上の子ども達が約400個の玉ねぎを収穫しました。全園児、一つずつお土産に持ち帰り、おうちの方に料理をしてみたいおいしく食べたようです。今はきゅうり、トマト、なす、おくら、ピーマンの夏野菜をうえ、育てています。一番実ったきゅうりを2歳児が収穫しました。「先生、ほら見て、目を輝かせ、取り立てのきゅうりを見せてください。収穫した野菜は、給食の先生に調理してもらい、給食やおやつ時にいただきます。とりたての旬の野菜を食べられるというのは、とても幸せな事です。野菜が苦手な子どももおいしい「食べられた」と笑顔です。これも食育の一つです。  
今年も地域の方々にお手伝いいただき、芋苗植えも無事に終わりました。苗が根付くまではと早朝の水やりもしてくださり、感謝しています。これから、子ども達と畑に行き、水やりや、草取りなどの世話をし、11月の芋掘りを楽しみにしています。  
(野田)



### 防災頭巾

23年12月に父母の会に買って頂いた防災頭巾は3歳児もすぐに慣れ、習慣づいてきました。防災頭巾は個人ロッカーの所に簡単に取り出せるように保管して、もしもの場合に備えての避難訓練の際に必ず着用しています。子ども達は非常ベルが鳴るとすぐにロッカーに向かい自分で着用します。3歳児でも簡単に着用でき、頭、鼻、口を一度に覆うことができるので安心です。自分たちの安全を守ってくれるおそりの防災頭巾は子ども達にとって大切なお守りです。  
(石原)



**寄せられた意見・要望の状況**

受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
H23年05月	3歳児	・友達2人が縄跳びを回しているところに、本児が走り込み縄に首があたり傷が残った。子どもに傷はつきものだが、命に関わるようなけがには気を付けてほしい。	・丁寧に謝罪をする。外遊びの時は当然安全確認等しながら、子どもと共に遊んだり、見守りをするようにしているが、今後さらに、気を付けていくことを伝える。
	母親	・夕方、一斉に子ども達が外に出て遊んでいるが、職員同士話をして、子どもを見ていない時がある。見てほしい。職員の人数は足りているのか。	・職員数については、児童数に対して適切に配置していることを説明をする。
H23年09月	無記名 郵送	・運動練習や当日の騒音に対して苦情が寄せられた。	・八田団地自治会長に相談し、張り紙の許可を得て、会長と園長連名で、広場の使用と音量を控える旨の張り紙を団地階の掲示板の掲示する。

### 《思い出～さわらび保育園と歩んだ日々》

昭和四五年に未完成の園舎、ほとんどが新卒者でスタートした保育の仕事。  
楽しく過ごしているうちに四二年間。今まで書いてきたことは、子ども、保護者に寄り添いながら、決まったことは必ずやる！すぐにやる！です。今は、自分のためにそれを実行しています。  
(古家 篤子)

園の周辺はまだまた自然が残る、車の通りも少ない頃の保育士生活でした。子どもの泣き声も笑い声も、保護者の声ひとつひとつもすべて保育士としての栄養素となって私が育つのだと思っています。親の気持ちに寄り添うこと、子ども育にいい影響を与えようと思いを信じてきました。  
(樋口 紀子)

### プール新規購入

23年の8月にさわらび保育園の屋上プールが新しくなりました。大きなクレーン車がやってきました、新しいプールが屋上に運ばれていくのを嬉しそうに見ていた子どもたち。  
いざ、屋上へ行くといざとビックリの新しいプールに大興奮！「年長クラスのみんでプール開きをして、たくさん遊びました。今年もだんだんと暑くなるとプールの季節が近づき、子ども達もプールに入ることを楽しみにしています。  
(瀧口)

### 展示食コーナー

給食の展示ケースが新しくなりました。あたたかみのある木製の2段ケースは9時のおやつ、給食、3時のおやつ一目で分かります。展示ケース横に食物を働きかけによって3つの食品群に分け、表示するホワイトボードを設置しました。  
保育園で食べるその日の給食や、おやつに入っている食材をマグネットで作って、子ども達と一緒に張りながら食物のはたらきの話をしていっています。  
(渡辺)

